主催：一般社団法人 日本毒性学会

第19回市民公開セミナー

絶滅の危機に瀕した猛禽類との共生を目指して

～鉛弾に起因する鉛中毒との長い戦い～

2022年 7月 3日(日)

13：30～15：00（開場 13：00）

参加費無料・参加申込不要

現地に来場される方 ▶ 当日直接会場にお越し下さい。

オンライン参加される方 ▶ 第 49 回日本毒性学会学術年会ホームページに当日オンライン参加入り口を設けますので、そちらからご参加下さい。

※現地とオンラインのハイブリッド開催となります。
※標本室も無料公開いたします。

ホームページ
https://jsot2022.jp/

司会 石塚　真由美
〔北海道大学大学院獣医学研究院／第 49 回日本毒性学会学術年会 年会長〕

講師 齊藤　慶輔
〔猛禽類医学研究所〕

会場 北海道大学大学院獣医学研究院講堂
〔〒060-0818 札幌市北区北 18 条西 9 丁目〕

【アクセス】北 18 条駅から北海道大学大学院獣医学研究院・獣医学部まで
地下鉄南北線「北 18 条駅」を出て、西 5 丁目樽川通り（エルムトンネル）方面へ

新千歳空港からのアクセスについてはこちら！

共催：北海道大学大学院獣医学研究院　後援：札幌コンベンションビューロー

※会場内ではマスク等を必ずご着用ください。
※ご入場前に検温及び手指の消毒をお願いしております。
※発熱など体調のすぐれないお客様のご入場をお断りする場合があります。

お問い合わせ先

第 49 回日本毒性学会学術年会　年会事務局
北海道大学大学院獣医学研究院 環境獣医科学分野毒性学教室　事務局長：中山 翔太
〒060-0818 札幌市北区北 18 条西 9 丁目　E-mail：secretariat@jsot2022.jp

齊藤　慶輔 SAITO Keisuke〔猛禽類医学研究所代表・獣医師〕

略　歴

日本獣医畜産大学 野生動物学教室卒業。
幼少時代をフランスの田園地帯で過ごし、野生動物と人間の共存を肌で感じた生活を送る。94年より環境省釧路湿原野生生物保護センターで野生動物専門の獣医師として活動を開始。2005年に同センターを拠点とする猛禽類医学研究所を設立、その代表を務める。絶滅の危機に瀕した猛禽類の保護活動の一環として、傷病鳥の治療と野生復帰に努めるのに加え、保全医学の立場から調査研究を行う。近年、傷病・死亡原因を徹底的に究明し、その予防のための生息環境の改善を「環境治療」と命名し、活動の主軸としている。テレビ番組プロフェッショナル仕事の流儀、ソロモン流、ニュースゼロ、SWITCHインタビュー達人達などで活動が取り上げられ反響を呼んだ。著書「野生動物のお医者さん（講談社）」で第57回産経児童出版文化賞を受賞。

役　職

環境省 シマフクロウ保護増殖分科会検討委員
環境省 オオワシ・オジロワシ保護増殖分科会検討委員
環境省 希少野生動植物種保存推進員
世界野生動物獣医師協会（WAWV）理事
野生動物救護研究会 副会長
日本野生動物医学会 理事・広報委員長
英国王立鳥類保護協会（RSPB）中毒症対策ワーキンググループ委員
北海道ラプターリサーチ 代表
ワシ類鉛中毒ネットワーク 副代表
（財）クリステル・ヴィ・アンサンブル アドバイザー

著書・訳書

◆ 野生動物救護ハンドブック（共著）　1996 文永堂出版
◆ Raptor Biomedicine Ⅲ（共著）　2001 Zoological Education Network
◆ 生態学からみた野生生物の保護と法律　2003（財）日本自然保護協会編 講談社
◆ 野生動物の医学（共訳）　2007 文永堂出版
◆ 日本の希少鳥類を守る　2009 京都大学学術出版会
◆ 猛禽類学（共訳）　2009 文永堂出版
◆ 野生動物のお医者さん　2009 講談社
◆ The eagle watchers（共著）　2010 Cornell University Press
◆ オホーツクの生態系とその保全（共著）　2013 北海道大学出版会
◆ 野生の猛禽を診る　2014 北海道新聞社
など